

Interview

新型コロナ対策

脇田 隆字 氏に聞く

医療界の総力戦



[Profile]

脇田 隆字 (わきた・たかじ) 国立感染症研究所 所長
1983年3月 名古屋大学医学部卒業し、臨床医として勤務する
1992年3月 名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了
1992年4月 米国ハーバード大学医学部マサチューセッツ総合病院
癌センター分子肝臓病院研究室 客員研究員となる
1995年4月 東京都臨床医学総合研究所 主任研究員
1998年7月 東京都神経科学総合研究所 主任研究員
2000年4月 東京都神経科学総合研究所 副参事研究員
2006年4月 国立感染症研究所 ウィルス第二部長
2015年4月 国立感染症研究所 副所長
2018年4月 国立感染症研究所 所長に就任し、現在に至る
資 格 1983年6月 医師免許
1992年3月 医学博士
専 門 消化器病学会認定医、日本肝臓学会認定医
日本内科学会認定内科医

いと思います。気温が低下

には外出自粛やテレワークの活用などをお願いするこ

とになりました。

イギリスで昨年十二月初めから話題になっていた外國由来の変異株もいよいよ

感染が広がる可能性があります。そういうた変異株が流入し、わが国にも蔓延す

ると、さらに感染防止対策

が難しくなることは間違いないと思います。二回目の緊急事態宣言の発令を受け、人の流れが一定程度下がり、人と人との接触を減らすことにより、感染者を減らすことが重要となります。

政府や自治体に求められ

ることにより、感染拡大が止む

ことになります。

しかし、現

は、まだ、現状

は、まだ、現状